

令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 2年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○書く能力の向上 語彙の習得 漢字の定着	○言葉の力を身に付け、活用できる授業づくり ・「はじめ」「中」「おわり」や段落を意識した文章を書く機会を増やす。 ・日記、視写、音読を継続する。家庭と連携をする。 ・新しい言葉に着目し、正しい語いの獲得をさせる。	
算数	○知識・理解の定着	○具体的な場面を取り入れた授業づくり ・場面や数の意味が具体的にイメージできる場の設定をする。 ・長さ、時計など学習したことを生活場面で活用する。	
生活	○身近な環境についての学びの充実	○豊かな活動や体験を確保した授業づくり ・動物や植物との関わりを増やすことで自然への興味関心の向上を図る。 ・児童に身近な題材を活かし、児童の気付きを増やす工夫をする。 ・互いに聴き合える場の設定→まとめる力、伝える力の向上を図る。	
音楽	○表現技能の向上	○音楽の楽しさを味わいながら基礎・基本を身に付けさせる授業の工夫 ・歌唱の基礎・基本の定着（自然で無理のない声）を図る。 ・リズム活動の中で、表現活動の充実を図る。	
図工	○創造的な技能の向上	○様々な材料や用具を工夫して使える力を身に付けさせる授業の工夫 ・安全面の指導を必ず行う。 ・様々な材料や用具に使える活動を充実させる。 ・身に付けた経験を総合的に試すことのできるような題材の設定をする。	
体育	○「握力」 ※前年度の体力テストデータから分析	○活動やルールの工夫をして運動を楽しく行う中で、基本的な動きを身に付けていくことができる授業づくり ・友達の動きを観察する場面や、模範を示して技術的な指導を行う場面の設定をする。 ・振り返りを行い気付きから学ぶ学習カードの活用をする。 ・握力や筋力を高めるために固定施設や鉄棒などの器具、遊具の活用をする。	